

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	箱根町立 宮城野保育園	階数	地上1F
建設地	足柄下郡箱根町宮城野140番地	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	130人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,600時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年1月20日
敷地面積	3,284 m ²	作成者	株式会社 桂設計
建築面積	1,006 m ²	確認日	2016年1月20日
延床面積	948 m ²	確認者	株式会社 桂設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 87% (40 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 87% (40 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 87% (40 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 敷地形状にあった配置計画。箱根町の景観に配慮した外観計画。	その他 道路を2.0mセットバックし、前面道路の安全性向上。敷地内を横断していた水路を整備し、水路管理がしやすくなる。	
Q1 室内環境 園児の生活環境に配慮した平面計画としているほか、自然採光・自然通風に配慮。	Q2 サービス性能 事務室から園庭及び園入口が見える平面計画。園の運営に配慮した各保育室の配置計画。山側で舗装部に面していない屋根には軒樋を設けず、落葉掃除などに配慮。屋根下には泥跳ね防止の砂利敷きを計画。	Q3 室外環境(敷地内) 北側を山で囲われている環境であることに配慮した配置計画。
LR1 エネルギー 外壁及び屋根の仕様及び「アガ」採用による建物の断熱性能を向上。	LR2 資源・マテリアル 木製フローリングやコルクフローリングの採用、国産材の壁仕上材使用等による、利用者及び環境にやさしい施設。	LR3 敷地外環境 勾配屋根による平屋建ての建物で、周辺への圧迫感を低減。山に面した敷地特性にあった配置計画とし、自然の風の流れに沿った建物形状。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される